

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 1 月 5 日

公表: 令和 6 年 3 月 8 日

事業所名 児童デイサービス BOW 一宮 II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動ができるようスペースを確保しています。	法令の遵守したスペースで行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準の職員数を確保し、支援しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差に対して注意を呼び掛けています。	トイレやデイルームの出入り口に段差があるため、少しでもなくせるよう検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員間で話し合い、情報共有をしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的アンケートを実施し、保護者様から意見を聞いています。	保護者様からの意見を参考に改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果を事務所のHPで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		必要に応じて対応していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月に一回、研修を受けています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時にアセスメントを行った上で支援計画を作成しています。	しっかりアセスメントをした上で、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフで話し合い、一週間ごとに話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		のばしていきたいことに焦点を置き、一週間で変えています。	苦手なことも楽しく参加できるように考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節に合わせて企画しています。	休日や長期休みにしかできないことを取り入れて、いろんなものに多く触れられるよう、企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			その場の状況を見たらうで、その時に合った活動内容にしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日支援前にスタッフ間で話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			送迎終了後に共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日支援記録を記入しています。	これをもとに保護者様とのモニタリングに活用しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年ごとにモニタリングを確実にし、支援計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童支援発達支援管理者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校と話し合った上で適切に行っています。	送迎時に先生方と情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			相談支援員さんを通して、情報提供をするようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		必要に応じて検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		状況を見ながら交流する機会に繋げていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時にデイでの様子をお伝えし、情報の共有をしています。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			スタッフ間で共有し、保護者様が気軽に相談できるよう努めています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者様のご相談がある際は、その都度時間を取り、対応するよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった際は、すぐに共有し、迅速に対応するよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月に一回のおたよりや、週に一回以上更新しているインスタグラムで発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの棚に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		送迎時、電話、連絡帳等で共有しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏祭りのチラシを配り、お招きしています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員間で共有し、周知しています。	保護者様に対して、説明しきれない部分がある為、お話ししていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に一回避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		チェックリストを使用し、振り返っています。	スタッフ間で共有し、細かいことまで気付くことが出来るよう努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時、毎年更新した上で、確認できるようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		随時ヒヤリハットを作成し、スタッフ間で共有しています。	